

# 第1回 新宿区 在宅緩和ケア 事例検討会

当番病院 国立国際医療研究センター

在宅での癌緩和ケアを進めていくには個々の事例において病院のスタッフと在宅のスタッフが顔を合わせて振り返りをおこない、それを積み重ねていくことが必要になります。区西部緩和ケア連携推進事業において新宿区医師会では在宅で緩和ケアを行った方の、事例を通じて在宅緩和ケアを病院と在宅の医療介護スタッフが一緒に考えていく会をおこなっていくことにいたしました。今後は当番病院をローテーションしながら年に数回開催していく予定です。

在宅での緩和ケアにご興味のある方はぜひご参加ください

平成28年12月7日（水曜） 19:00～  
国立国際医療研究センター 5階大会議室

総合司会 徳原 真 先生

## 事例1：肺癌

鎖骨上リンパ節転移から上肢の神経障害をきたした事例

在宅主治医：コンフォガーデンクリニック 木下 朋雄 先生

訪問看護ステーション：白十字訪問看護ステーション

## 事例2：胆嚢癌

独居で社会的支援が難しく、疼痛コントロールの難しかった事例

在宅主治医：新宿ヒロクリニック 英 裕雄 先生

訪問看護ステーション：新宿ヒロクリニック

主催：新宿区医師会、新宿区医師会在宅医会、